

座談会

愛情を込めてしかる。愛情を込めてほめる。

子どもにかかわる立場から座談会でお話を伺います

司会(柳) 今日、子どもにかかわるいろいろな立場のかたに出席していただき、昔と今の子どもをどう育てるべきかという形で進めていきます。それは、まず始めに自己紹介をお願いします。  
初谷 高島小学校教諭の初谷です。教員生活37年になります。  
石井 南中学校教諭の石井です。教員になって15年になります。  
村上 平成19年度に中野小学校P

T A会長を務め、現在は郡P T A会長をしている村上です。  
三ツ村 町青少年育成推進員連絡協議会(以下、青少推)会長の三ツ村です。青少推に入って11年になります。  
内田 主婦をしている内田です。地域の仲間でバレーボールをしています。  
昔の子どもと今の子どもは違うと感じませんか?

のかかわりが多かったと思うのですが、今の子どもは対人関係が少なすぎるかと思えます。  
司会 私もう思うんですよ。やはり対人関係が、今の子どもたちは苦手だと思います。また、子どもへのしかり方ですが、昔は悪いことをしたら、先生にしかるって、パケツを持たされて廊下に立たされたものです。本当に悪いことをしたときには、先生からげんこつをもらったこともありましたよね。最近では、どういうしかり方をしているのでしょうか。  
初谷 子ども同士のけんかの場合、瞬時にお互いの言い分をきき取り聞くようにしています。というは、私の言動を素直に受け入れてくれないことが時々あるからです。私が子どものころは、先生にしかられたことを素直に受け入れる気質みたいなものがありました。でも、今は先生と子どもとのコミュニケーションが難しくなってきていると思います。  
司会 勉強中の学校生活になっ

他人の子どもでもしかれる大人が必要だと思います



街角特派員 柳 保久 (前谷東原・2区)

司会 昔の子どもと今の子どもは、変わってきていると感じます。皆さんはどう思いますか?  
初谷 長年、教員生活をしているのですが、だいぶ変わってきていると感じます。昔の子どもの方が表現がわかりやすかったと思います。けんかをしてもさっぱりしていたし、それから感謝の言葉もきちんと言えた。何より自分に正直だったような気がします。今の子どもは、感情表現や友達づきりが下手です。というか対人関係が苦手なんです。昔の方が、大人と

戦後、高度経済成長により社会情勢は急激に変化してきました。物質的には豊かになった陰で、心の豊かさが薄れてしまったようではありません。私たちが記憶している昭和の時代、親だけでなく周りの大人たちからも注意されたり、しかりたりしたものです。しかし最近では、電車の中やお店などでふざけていても、それを注意する大人は昔ほどはいません。学校でも先生が子どもに厳しくしかると、親からいろいろ言われ先生方も大変苦労しているようです。  
今回の特派員レポートでは、子どもを育てていく中で、子どもに対するかわり方などをいろいろな立場のかたからお話を伺います。そして、地域全体で子どもに対してどのようにしかるべきかを考えていければいいのかなと思います。

座談会出席者 (写真左から)

- 柳 保久 (街角特派員)
- 初谷恵子 (高島小学校教諭)
- 石井利幸 (邑楽南中学校教諭)
- 内田静江 (主婦)
- 村上 博 (郡P T A連合会会長)
- 三ツ村文夫 (町青少推会長)



No.181 街角特派員 レポート

街角特派員レポート

きちんとしかりう。ちゃんとほめよう。

子どもの育て方勘違いしていませんか?

戦後、高度経済成長により社会情勢は急激に変化してきました。物質的には豊かになった陰で、心の豊かさが薄れてしまったようではありません。私たちが記憶している昭和の時代、親だけでなく周りの大人たちからも注意されたり、しかりたりしたものです。しかし最近では、電車の中やお店などでふざけていても、それを注意する大人は昔ほどはいません。学校でも先生が子どもに厳しくしかると、親からいろいろ言われ先生方も大変苦労しているようです。  
今回の特派員レポートでは、子どもを育てていく中で、子どもに対するかわり方などをいろいろな立場のかたからお話を伺います。そして、地域全体で子どもに対してどのようにしかるべきかを考えていければいいのかなと思います。



邑楽南PTA連合会会長  
村上 博  
(天元元宿・5区)

## 親が子どものことにもっと 関心を持ってほしい

を見掛けませんね。また、小学生まで携帯電話を持っている時代なのでそちらの方が気になります。注意したいのは、興味本位で有害サイトを見てしまう危険があること。ぜひ、保護者には有害情報から子どもを守るため、携帯電話を与える際に、フィルタリングのサービスを活用してほしいです。司会 内田さんは、最近の子どもと昔の子どもを比較した場合、感じることはありますか？

内田 とにかく外で遊んでいる子どもが少なくなっていますね。私たちが子どものころは、集まる場所がなくなくあって、自然と近所の子どもたちが集まってきて、みんなで遊んだものです。先日、たまたま甥の子どもの遊んでいるところを見掛けたのですが、友達がゲーム機を持ってきて、こたつに入っ

### No.181 街角特派員 レポート



電車の優先席は、お年寄りや障害者、妊婦の人などに譲りましょう

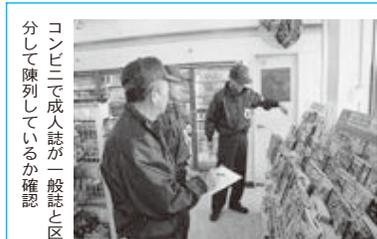
たと思つたらゲーム機とらめつこ。みんな黙つてゲームをしていて会話が全くないんです。愛情をもっとしかる愛情をもっとほめる

司会 地域内のつながりが薄くなり、自分本意の子どもが増えていると思います。電車に乗っていた時、優先席をお年寄りに譲らない子どもを見掛けたことがありますが、その子どもが大人になつて親近なことができるのか疑問です。親は正しいことを子どもに教えるのであって、間違つたモラルを子どもに教えるはいけません。それから、近所の子どもに声を掛ける大人が少なくなっていますよね。私は知らない子どもでも、声を掛けるようにしています。今の人は声を掛けないのかと思つたのですが、今は知らない人と話をするなど学校で指導されて

村上市 親たちの中で、自分の子どもさえよければいいという考えがあります。自分の子が食べられれば、それでいいと思つてしまう。例えば、学校で焼きそばの屋台をやつたとしても、自分の子の量が少ない、ほかの子の量が多いなどと言つてしまう親がでてしまうのです。一部ですが、最近の親の考え方は変わつてきていますよね。

## 物質的に豊かになつても 心の豊かさが薄れている

いるそうです。私は、近所の人でも子どもたちを気にかけることで防犯にもつながると考えます。近所の人たちの目が、今必要とされているのではないのでしょうか。三ツ村 先日、小学生とすれ違つたら、元気よくあいさつを掛けました。また、通勤途中に歩道を歩く小学生に道を譲つたら、その小学生が帽子をとって、「ありがとうございます」と言つてくれたことがありました。その日は1日気分がよかつたですね。私は子どもをしかりるときは、愛情をもつてしかり、ほめるときも愛情をもつてほめる。そうすると子どもは伸びるのです。悪いことをしたときは、その瞬間にしかることが重要だと思つています。



コンビニで成人誌が一般誌と区分して陳列しているか確認

47-15043  
▼事務局 役場生涯学習課内

**青少推とは：**  
青少推（青少年育成推進員）は、県知事と町長から委嘱を受け、青少年の犯罪被害防止や非行防止、有害環境浄化など、子どもたちを守る活動を年間を通して行っています。  
活動の中心は、春・夏・冬に行われる青少年健全育成バトル（3季バトル）。邑楽町では、町内34行政区の推進員が、9班に分かれて町内のコンビニやゲームセンター、公共施設などを巡回しています。また、「子どもをほめて育てよう」という方針から、青少年健全育成推進大会を開催。大会では、優良青少年・青少年団体の表彰などを行っています。



高島小学校教諭  
初谷 恵子  
(太田市)

## 人とのコミュニケーション の大切さを知ってほしい

初谷 社会的に学習に対する希望や要望が高くて、子どもへの負担が多くなつてきているのは事実です。親の期待が大きくなりすぎていますね。子どもを勉強だけで比較するのは、いいこととは思いません。学校は、勉強するのも大切ですが、友達づくりの中からも人とのかわりの大切さも学ぶところですよ。司会 中学校での対人関係はどうなんでしょうか。

石井 対人関係で言えば、最近あいさつができない子どもが増えてきているように思います。それに感謝の言葉を素直に言えない子どもも増えていきますね。あいさつや感謝の言葉の大切さを、家庭から学んでほしいと思います。昔は頭ごなしに、しかる先生もいましたが、今は子どもたちの言い分を聞

いて丁寧な説明しないと、子どもは納得してくれません。昔は他人の子でも周りの大人がしかりしてくれた

司会 夜遅い時間に子どもたちも、コンビニなどでたむろしている姿を見掛けます。私はそういう子どもを注意します。でも、今の大人たちは、他人の子だから関係ないという人が多いと思います。昔は、他人の子どもでも周りの大人がしかりつけてくれたような気がしますが、今はどうでしょうか。

石井 昔は地域のみんなが顔見知りだったから、他人の子どもでも注意することができたと思います。最近では、人とのつながりが希薄になつてきて、お互いがちよつと見たくらいでは注意できない時代になつてきています。司会 子どもと大人のつながりに関して、村上さんは、どう感じていますか？

村上 今は、すべてで学校で教えるものだという親が増えていような気がします。ですから、原因が子どもだけのせいだけではないと思うんです。地区の中で、指導者がついでスポーツをやっている子どもたちがいますが、その子たちのようすをその親が見に来ない場合があります。変な話、その場が休日

あいつや感謝の言葉の大切さを家庭から学んで

また、知っている親がいれば、子どもたちもあいつするし、悪いことをしていたら、きちんとしかりあげることが大切で、そのつながりが広がればいいと思います。親が顔を出さないから、クラスメートの親の顔を知らないのです。親が子どものことにもっと関心をもつてほしいですね。

司会 青少推では、パトロールなどをしているときに気付いたことはありますか？

三ツ村 最近、夜間に子どもたちの



会話もなくゲームに夢中で



邑楽南中学校教諭  
石井 利幸  
(一本木・18区)



主婦  
内田静江  
(石打・20区)

### 一番大切なことは勘違いしない愛情と思いやり

司会 こうしてお話を伺うと、親の価値観や考え方の変化など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきたんですね。子どもと親、地域は身近な存在で密接な関係にあると思います。  
今後、どんなことを課題にあげて取り組んでいけば、よりよい関係が築けるか聞かせてください。  
初谷 子どもたちには、人とのコミュニケーションの大切さをぜひ知ってほしい。人とのかわりが大事だということを感じてほしい。

## No.181 街角特派員 レポート

大人が変われば子どもも変わる  
学校に来てしまい、学校で先生が何か言うと親が出てくる。学校は勉強するところで、しつけは家でやるものだと思います。

い。そして将来、自分の生活がよくなる方法を自分で見つけることができる大人になってくれると思ふのです。  
石井 周りの人に対する言葉遣いはもちろん、親に対する言葉遣いの大切さを家庭で教えてほしいですね。あいさつを大切にしてくれる地域の人がいると大切は、子どもは真つ直ぐ育つていきます。  
村上 学校に任せれば、なんでもしてくれると思つている親が増えています。学校は門を開いてお父さん、お母さんどどん学校に来て手伝つてくださいという体制をとつていますが、親がなかなか入つてこない。突然入つてきても、子どもたちはどの親だろうと思つてしまふ。親がもっと子どもにかかわつてほしいです。  
三ツ村 最近、マナーが悪い大人が増えています。子どもは親のやつていてることを正しいと親と信じています。大人が子どもの見本になることが大切。大人が変われば子どもも変わるのです。  
子どもを、しかるときは愛情をもつてしかつてほしい。その一方でいいところを見つけて子どもをほめてあげてください。子どもは、ほめられることによって努力し、成長していくものです。また、親は生まれてきてくれてありがとうという感謝の気持ちをもつ

### 取材を終えて

最近、新聞やテレビなどでは、親がわが子を虐待したり、子どもが親を刺したり、そんな悲しいニュースが報道されています。経済的には豊かでも、心が貧しくなっているように思えてなりません。教育の原点は家庭にあると思います。小さいころから、愛情込めてしかりたり、ほめられたりすることで子どもは親子のきずなをしっかりと感じるのです。この記事を読んでいただいたお父さんお母さん、悪いことは、きちんとしかり。よいことは、ちゃんとほめる。子どものころに約束したことは、大人になってもしっかりとできるはず。大切にされている。そう感じたとき、子どもの心は育つのです。そして、邑楽の人たちが心温かい人たちでいてほしいと願います。最後に、座談会など取材に快くご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

街角特派員 柳 保久



町青少推会長  
三ツ村文夫  
(本郷江原・29区)

### 悪いことはきちんとしかり、よいことはちゃんとほめる

学校で子どもをしかりるときその後に親が見える

内田 お菓子を食べていても、ほかの友達にあげない子どもがいましたが、思いやりがなくなつてきているのでしょうか。自分のものを半分にしても、分けてあげるということを学んでほしいですね。思いやりの心を親も教えてほしいです。最近、何かが違つてきているような気がしますよ。  
初谷 物質的に豊かになつても、心の豊かさがそれに続いていけません。みんな昔は貧乏だつたけれど、自分本意の親は少なくなつた。人の子どもをみる余裕のない親が増えたんですね。高度経済成長の陰で、大切なものを落としてきてしまったのかもしれない。

村上 先生が、なんで自分の子ばかり、しかるのという親が増えたんで、先生も昔のようにしかれないんでしようね。  
初谷 子どもをしかりるときは、今の方が気を遣います。  
内田 もし自分の子どもが、先生にしかられたとしても、自分の子どもが悪いことをして怒られたのだから、しょうがないんじゃないんです。初谷 今はそれで終わらないんです。子どもは、都合のよいことしか言わない方が多いんです。  
内田 最近の子どもたちは、「何もしてないのに」が言い訳になっていますが、そんなときは、聞いた親が自然とわかることではないでしょうか。どうしても納得いかなかったら、そこで初めて先生に聞くべきではないでしょうか。  
初谷 私は、「元気に登校した子どもは、元気に下校させる」が教員になったときからの信条です。学校で、子どもに熱が出たときやけんかをしただけを傷つけたときなどは必ず親に連絡します。  
でも、私の目につかない心の変化があつた場合が問題。外見からは分からないからです。先生でも、子どもの心の方が分からないうちもあるのです。  
司会 学校にも限界がある、そう考えると地域の人たちの目配り気

配りが重要になつてくると思うんです。マナーを教えるあげるのが親であり、フオローする形で地域の人たちが温かく見守つていく必要があると思います。  
学校は勉強をするところしつけは家で教えること  
初谷 私は子どもにも八木節を教えているのですが、地域の指導者が指導に入る前に必ずあいさつを教えてくれる。こういった社会経験が、今の子どもには必要なのではないでしょうか。  
親は地域の人とかかわりあえる場所を子どもにも、もっと経験させてあげた方がいいと思います。  
三ツ村 あいさつは重要ですね。やっぱり親ですよ。親の姿を見て子どもは育つと思います。  
内田 ですが、中には小学校高学年から中学生になると親の方が、変に子どもにも遠慮して言っている光景を見掛けます。具体的には、あいさつ？何それ？みたいな感じでご切り替えされてしまうようなところなどです。  
村上 中学校の学級懇談会ときの親たちの第一声が、「うちの子は反抗期だから」というのが多いんです。自分の子なんだから、言うことを聞かせればいんです。親が何も言えないまま、子どもが

### 子どもにはしかるだけではなく、愛情込めてほめることが大切

私が中学生のころは、忘れ物一つしただけでも、学校の先生に厳しく怒られたものです。時には、げんこつをもらうこともありました。でも、大人になって振り返つたときに、厳しかった先生の指導があつたからこそ今の自分があるのだと感謝してい

ます。最近、子どもに対して過保護な親が目立ちます。私は、子どもが悪いことをしたら、愛情込めて本気でしかります。でも、しかるだけでは子どもは成長しません。子どものよいところは、愛情込めてほめることが大切だと思っています。



眞仁田真夫さん  
(十三坊塚・6区)

INTERVIEW

保護者に聞きました